

記者発表資料

平成22年11月11日

宮崎地方気象台

延岡河川国道事務所

～洪水時の水防活動や避難行動の目安となる～ 五ヶ瀬川・大瀬川のはん濫危険水位等を見直しました

国土交通省では、大雨による洪水の際に、水防団が活動を始める必要がある場合や自治体が避難勧告などの発令を行う目安となるよう、水防警報や洪水予報(気象台と共同発表)を発令しています。

延岡河川国道事務所が管理する五ヶ瀬川水系においても、平成11年より宮崎地方気象台と共同で洪水予報の発表を行ってありますが、その目安としている基準水位等について、五ヶ瀬川激甚災害対策特別緊急事業(以下、「激特事業」という。)等による川の中の掘削や堤防整備などの工事により、洪水時の安全度が大幅に向上した為、別紙のとおり「はん濫危険水位」等を見直しましたのでお知らせします。

なお、大雨による洪水が発生し、延岡市などから避難勧告や避難指示が発令された場合や、身の危険を感じた場合は、安全な場所へ早めの避難をお願いします。

また、延岡河川国道事務所では、インターネットや携帯電話を利用して、五ヶ瀬川流域の防災情報をいち早く提供する「五ヶ瀬川防災情報システム」の運用を行っており、パソコンや携帯電話から、雨量や河川の水位、河川監視カメラ画像、洪水予報等の各種防災情報を、24時間情報提供していますので、大雨の際にはお役立て下さい。

【問い合わせ先】

国土交通省 延岡河川国道事務所 技術副所長 川野 晃
調査第1課長 坂本 正己

〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町1丁目2889番地

電話：0982-31-1155(代) FAX：0982-33-6907

【五ヶ瀬川防災情報システム】

インターネットの場合 <http://gokasegawa-bousai.qsr.mlit.go.jp/index.php>

携帯電話の場合 <http://gokasegawa-bousai.qsr.mlit.go.jp/keitai/top.html>

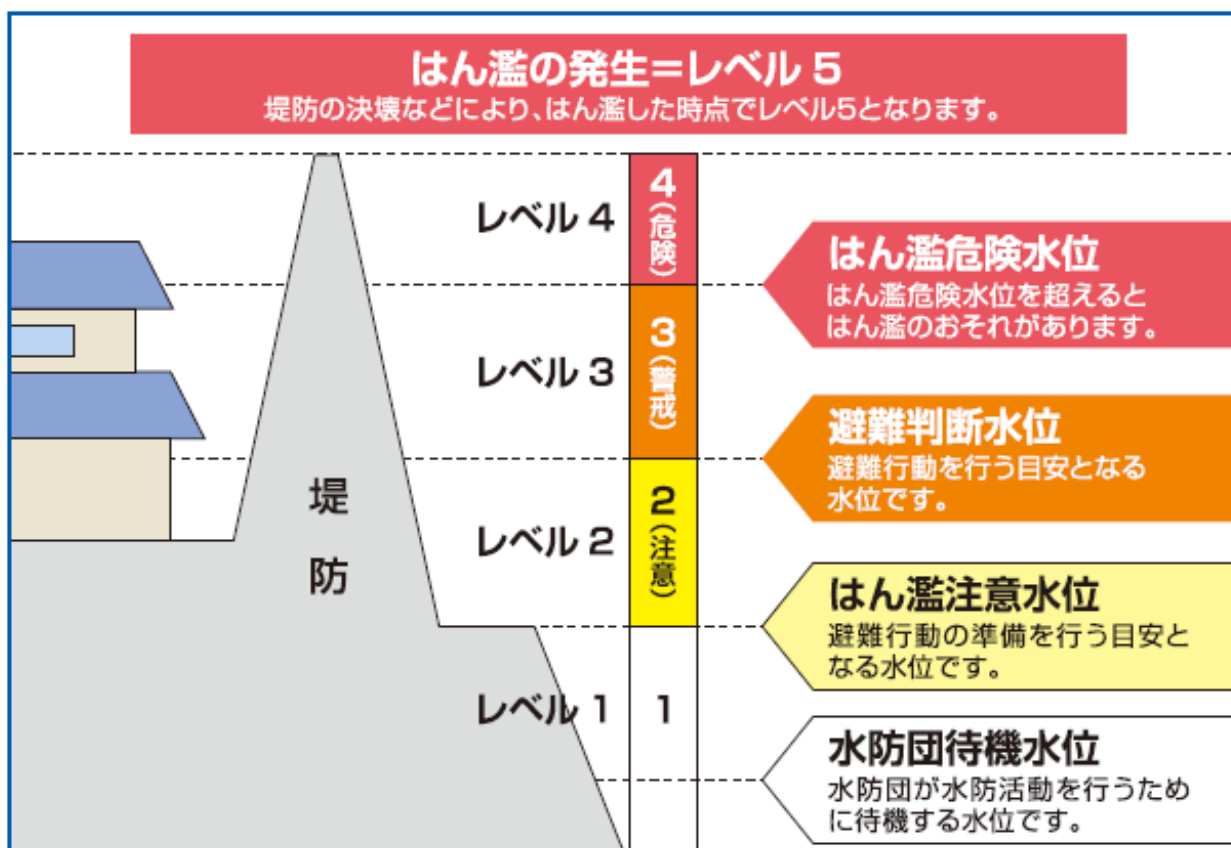
【別紙】

【大瀬川三ツ瀬水位観測所】






項目	基準水位	
	現行	変更
はん濫危険水位	4.30m	5.30m
避難判断水位	3.70m	4.60m
はん濫注意水位	3.50m	3.90m
水防団待機水位	2.50m	3.40m

今後は、今回変更した水位に基づき、水防警報や洪水予報の発令を行います。

■水位危険度レベル



水からまもる ～五ヶ瀬川激甚災害対策特別緊急事業（通称:激特事業）の進捗状況～

	河道掘削(完成)
	築堤・橋梁(施工中)
	築堤(完成)
	排水ポンプ場(完成)
	H17年台風14号 浸水箇所



河道掘削 かどうくっさく

河道掘削とは、川を広くまたは深くして洪水を流れやすくする工事です。

五ヶ瀬川では、平成21年度に五ヶ瀬川(野田地区、河口開口)、大瀬川(隔流地区)の河道掘削を実施し、激特事業における約140万立方メートルにおよぶ河道掘削が完成しました。

より一層、川に親しめる河川敷が整備されましたので、今後、地元住民や行政等とのパートナーシップにより、皆様に親しまれる空間として利活用ができるように維持管理を実施していきます。



野田地区河道掘削施工前



野田地区河道掘削施工後

隔流堤 かくりゅうてい

洪水による河川の流れを分離することにより、合流による水位上昇を防ぎます。

平成21年度は、JR日豊本線付近及び国道10号延岡大橋付近において、盛土工事等を実施し、これまでに所定の高さを確保しました。

平成22年度は、当該箇所の残りの盛土工事や護岸工事等を実施し、完成を目指します。



隔流堤の施工状況

堤防 ていぼう

洪水が越水しないよう堤防を設置(築堤)、または計画の高さまで高めます(かさ上げ)。

平成21年度は、祝子川(栗野名地区)の堤防工事を実施しました。

平成22年度は、五ヶ瀬川(岡富・古川地区)について、宮崎県、延岡市の道路改良事業・区画整理事業と連携し、堤防のかさ上げを継続実施します。



栗野名地区施工状況

安賀多橋架替 あがたばしかけかえ

橋の高さが低く、洪水時の流れの阻害となっていた安賀多橋について、架け替えを行ない洪水を安全に流しやすくします。

工事は現在までに仮設橋を設置し交通の迂回を確保した上で、旧橋撤去と新橋の下部工(橋台・橋脚)の設置が完了しています。今後は、新橋の上部工(橋げた)の設置を行い、平成22年度末の供用開始を目指します。



安賀多橋架替の状況

【参考】

五ヶ瀬川松山水位観測所においても水位情報の提供を開始

◆延岡河川国道事務所では、五ヶ瀬川・大瀬川が合流していた下流部に隔流堤を設置し、2つの川が分流されたため、新たに五ヶ瀬川の松山水位観測所においても、水位情報の提供を行います。

【五ヶ瀬川松山水位観測所】

項目	基準水位	
	現行	設定
はん濫危険水位	設定なし	5.90m
避難判断水位	設定なし	5.10m
はん濫注意水位	設定なし	4.10m
水防団待機水位	設定なし	3.50m

水からまもる ～五ヶ瀬川激甚災害対策特別緊急事業（通称:激特事業）の進捗状況～



河道掘削 かどうくさく

河道掘削とは、川を広くまたは深くして洪水を流れやすくする工事です。

五ヶ瀬川では、平成21年度に五ヶ瀬川(野田地区、河口開口)、大瀬川(隔流地区)の河道掘削を実施し、激特事業における約140万立方メートルにおよぶ河道掘削が完成しました。
より一層、川に親しめる河川敷が整備されましたので、今後、地元住民や行政等とのパートナーシップにより、皆様に親しまれる空間として利活用ができるように維持管理を実施していきます。



野田地区河道掘削施工前 野田地区河道掘削施工後

隔流堤 かくりゅうてい

洪水による河川の流れを分離することにより、合流による水位上昇を防ぎます。

平成21年度は、JR日豊本線付近及び国道10号延岡大橋付近において、盛土工事等を実施し、これまでに所定の高さを確保しました。
平成22年度は、当該箇所の残りの盛土工事や護岸工事等を実施し、完成を目指します。



隔流堤の施工状況

堤防 ていぼう

洪水が越水しないよう堤防を設置(築堤)、または計画の高さまで高めます(かさ上げ)。

平成21年度は、祝子川(粟野名地区)の堤防工事を実施しました。
平成22年度は、五ヶ瀬川(岡富・古川地区)について、宮崎県、延岡市の道路改良事業・区画整理事業と連携し、堤防のかさ上げを継続実施します。



粟野名地区施工状況

安賀多橋架替 あがたばしかけかえ

橋の高さが低く、洪水時の流れの阻害となっていた安賀多橋について、架け替えを行ない洪水を安全に流しやすくします。

工事は現在までに仮設橋を設置し交通の迂回を確保した上で、旧橋撤去と新橋の下部工(橋台・橋脚)の設置が完了しています。
今後は、新橋の上部工(橋げた)の設置を行い、平成22年度末の供用開始を目指します。



安賀多橋架替の状況